

平成30年度 第2回西淀川区教育行政連絡会議事要旨

【淀中学校ブロック：淀中学校・出来島小学校・大和田小学校・川北小学校】

日 時：平成30年7月17日（火）13:00～15:10

場 所：淀中学校 校長室

【西淀中学校ブロック：西淀中学校・姫里小学校・姫島小学校・福小学校】

日 時：平成30年7月20日（金）15:00～16:30

場 所：西淀中学校 校長室

【佃中学校ブロック：佃中学校・佃小学校・佃西小学校・佃南小学校】

日 時：平成30年8月6日（月）10:00～11:30

場 所：佃中学校 図書室

【歌島中学校ブロック：歌島中学校・柏里小学校・野里小学校・香籠小学校・歌島小学校・御幣島小学校】

日 時：平成30年8月9日（木）10:00～11:30

場 所：歌島中学校 ミーティングルーム

区役所：塩屋区長・山本副区長・横内学校教育支援担当課長・向井学校教育支援担当係長・若松係員

1 平成30年度校長経営戦略予算（区担当教育次長執行枠）について

○区役所からの説明

・別添資料のとおり説明

○意見交換要旨

【淀中学校ブロック】

- ・平成32年度にプログラミング教育の本格実施が迫る中、大阪市教育委員会からは具体的な指示等はない。推進校が公開授業を行うのみ。その中で、区が取り組んでいる研究会や機材の購入は、当校としてはとても助かっている。どの教材がいいか、などは研究会に参加してくれている先生方に聞いてもらえれば。平成30年度予算で何か教材を購入するのであれば、ドローンなどおもしろいと考えている。
- ・教材の購入もいいが、講師謝礼を出してもらうことで、体験授業などができないか。
Pepperくんを使ったプログラミング教育の授業などが良いと考えている。
- ・中学校としては、次長枠予算は小学校に使ってもらって、同じ教育を受けた子どもたちが入学してくれてきたら小中連携にもなり、ありがたいと感じている。
- ・プログラミング教育の教材や体験授業というのは当校ではちょっと難しいと考えている。理科の実験教室などを希望する。

【西淀中学校ブロック】

- ・当校では EV3 を学校の予算で購入する予定にしている。
- ・当校では教員がマイクロビットに取り組もうとしている。
- ・レゴ教材は購入費用が高いな、という印象がある。
- ・当校もプログラミング教育は推進したいと考えている。今年度は基本配付で pepper くんを活用したプログラミング授業を行う予定。
- ・プログラミング教育というのは、結局、授業できる先生がいるかどうかにかかっている。今幸い当校には詳しい先生がいるので、今のうちにノウハウを蓄積したい。理科教育というイベントものにするのが簡単だが、モノが残らない。マイクロビットがいいのではないか。

【佃中学校ブロック】

- ・理数教育については、市教委の理科特別授業などがある。せつかくの次長枠予算なので、プログラミング教育について、モノだけを配付して終了ではなく、民間のプロの方などが来ていただき研修を実施していただきたい。
- ・教員がプログラミング教育を理解できていない。どのような切り口で各教科に組み込まれていくのかわからない。理数教育や理科の実験についても教科と連動して説明しないとおもしろいだけで終わってしまう。また、市大の先生等、そのような実験を無料でしてくれる組織もあるので予算をかけてやる必要があるか疑問。理数教育もプログラミング教育も子ども達の日常生活に結び付けて実施することが必要。
- ・プログラミング授業については、研究会に参加している先生が校内伝達してくれているが、専門家がきて研修する方が、先生方のインパクトが違う。また、子ども達が日常使用しているタブレットを活用し、実施しなければ意味がない。
- ・教職員の研修とあわせて子ども達に使わせることもセットで考えた方がよい。区役所でプログラミング教材を用意してくれているが、貸出はハードルが高いように感じる。最低限の必要台数が学校になれば活用できないのではないか。
- ・次長枠予算については継続的に予算をかけて、経年で効果を調査しないと効果がない。残念ながらプログラミング教育については方針が示されていないのでコメントできない。小学校で必要であれば、理数教育やプログラミング教育について研修や子ども向け体験を行うなど、その方針に沿って実施してもらったらよい。大きな枠組みで子ども達のための予算としてもらい、そのうえで次長枠予算との関連をもった加算配付予算要求が必要。

【歌島中学校ブロック】

- ・阪神電鉄のプログラミング教育のプランを今年度当校にて実施した。学校で子どもたちを対象に体験授業を行った後、教員向けの研修会などをやらしてもらえればありがたい。
- ・区の研究会は希望制であり、希望制となると「忙しいし、行かなくてもいいか」となってしまう。半強制的にやらしてもらえれば区全体にプログラミング教育が広がるのではないか。

- ・区役所に出張で行くというのは敷居が高い。来てもらえないか。
- ・モノだけもらっても使えない。学校現場で使えるように教員の研修主体でお願いしたい。
- ・当校はまだ学校の教育段階としてプログラミング教育まで到達していない。それ以前の課題がある。小学校でプログラミング教育を、というのであれば、それでよいと考える。
- ・当校は理科の実験イベントを希望する。

2 各校において取り組んでいる課題と平成 31 年度校長経営戦略予算（区担当次長執行枠）について

○区役所

- ・別添資料のとおり説明

○意見交換要旨

【淀中学校ブロック】

- ・このブロックはさまざまな国籍の子どもがいる。言葉のハードルが高い子どもたちがいるという課題がある。
- ・当校には日本語指導担当の先生がいる。加配でつけてもらっている分、恵まれていると思う。外国の子どもたちは、まず日本語を習得して、それから学年の勉強をすることになり、通常の学力に追いつくのはとても大変。
- ・中学校までは義務教育なので受け皿があるが、高校に進学するのが難しい。高校の内申点に中学校 1 年生からの評定が含まれることになり、より難しい制度になった。英語ができる子どもには英検の受検をすすめている。
- ・英語が母国語ではない家庭の子どももいる。日本語教室で日本語が追いついても、そこからの勉強がしんどい。5 年生で日本に来た子どもなどは、5 年分のハンデがあることになる。
- ・タブレットなどを使って、わかるところまで戻って学習を進めてくれる、というのは魅力的。

【西淀中学校ブロック】

- ・以前、小学校の校長をやっていたころは漢字検定を実施したことがある。
- ・漢字検定だけではなく、算数検定や小学校用の英語検定なども検討してはどうか？。
- ・算数検定を実施したことがあるが、保護者の認知度が低いので、費用対効果としてはまいちであった。やはり英検か漢検がいいと思う。中学生は英検がいいのでは？ 高校受験に有利になると聞いている。
- ・英語力のある生徒は自費で受検している。小学校が漢検受検を希望するのであれば、中学も漢検で良いと考える。
- ・3 年くらいは学校として継続して取り組まないと成果がでないと思う。

【佃中学校ブロック】

- ・西淀川区は市内で学力がとびぬけて高いということではない。また、貧困率も比較的高

い区であると聞いており、漢検、英検等の検定試験にまで、時間やお金を活用しようという感じではない。学校などで一律に試験を受けさせてあげると経験値もあがるとともに今自分はどれくらいの実力があるのかということもわかる。

- ・小学校高学年は別だが、低学年等は漢検、英検に落ちると逆にモチベーションが下がってしまわないか気がかりである。その点英検 Jr. は合否ではなく、自分の力がわかるので良いと思う。
- ・私は英語よりもまず、国語が大切だと思っている。国語を理解するためには漢字を理解しなければならない、という趣旨で漢検を推奨している。ただし、大阪市は英語教育を推進しているので、加算配付で申請した場合査定落ちする可能性がある。加算配付は区教育担当次長の方針と関連していれば、加点される可能性が高いので、まず、区の方針（バックボーン）をしっかりと決めてもらう必要があると考えている。トップ層を伸ばすのか、ボトムアップを図るのか、いずれにしても検定についてサポートしていただけるのはありがたい。

【歌島中学校ブロック】

- ・英語のイングリッシュツアーは、英語を話す体験をさせるということで、良いイベントだったと思う。応募のあった人数が定員に満たなかった件については、周知期間が足りなかったことと、学校の教員から子どもたちに声かけをすることができなかったことが原因かと思う。学校現場の教員を巻き込んでほしかった。今後は、事前の説明会等あれば英語科の教師などを参加させたい。
- ・校長経営戦略予算漢検を実施しているので、区で実施してもらえればありがたい。
- ・当校はPTA主催で、親子受検という形も含めて全学年で希望制で実施している。一学年を区の助成で全員受検させるとなると実施方法を考えなければならない。

3 校長経営戦略支援予算（加算配付）について

○区役所

- ・申請に際して、困ったことなどがあれば相談してほしい。

○質問など

- ・ぜひ相談したい。
- ・事務的なことはわからないことが多い。相談しながら予算を獲得できるように頑張っていきたい。